

特集・協議会活動

道央技術士協議会



道央技術士協議会の活動

北海道技術士センター 道央技術士協議会 会長
技術士（機械部門）・工学博士 渡部 富治

1. 協議会名称・会員数

名称：道央技術士協議会
現時点での会員数：54名

2. 活動の目的

・会員の技術向上と良好な会員相互関係の維持発展
工学は、理学をはじめとする諸知識を活用してソフト、ハードの実体を創造し、より好ましい社会の実現に寄与する学問である。

技術士は、“工学技術、知識”を駆使し“幸福な社会を創設、発展”させることができる技術者である。会員の行動は、依頼者だけでなく社会に対しても、「より良い効果をもたらす」よう熟慮したものであるように期待されている。

最近の社会情勢は、グローバルな地球環境を無視することを許さない。また途上国との技術格差が減少し、労働賃金格差が駆動圧力になり、国際的分業化に拍車がかかっている。技術士に対する新しい活躍の場は拡大しつつある。

会員は“相互信頼と協調の精神”で交流を行い、広く“社会および技術動向”に注目し、常に“先端技術の吸収”に努め、時代に即した“業務遂行”に努めねばならない。これにより、「業績向上」と共に、「より好ましい社会の創造」に貢献して行く。

3. 活動の内容

- ・技術研修（技術士継続教育）
- ・技術情報交換
- ・相互信頼関係の維持発展

技術研修を計画、研修の場を創出することにより、会員の継続教育の機会を提供する。

室蘭地区ではPCB処理施設の設置が決定している。社会的環境保全の観点から、全国自治体へ事業化協力につき政府が公募した。地域へ事業を誘致するとき、PCBの危険性を確実に防ぎ事業することが鍵である。他方で地域の雇用拡大に貢献することもあり、室蘭市はこの誘致を決めた。

日本製鋼所室蘭では、以前から自社内で使用したPCBの無毒化処理をしている。この処理は高度の化学技術がベースになっており、処理には相当の設備投資が行われている。しかし同社は、室蘭市のPCB処理を引き受ける意思は無いとのこと。

今回この施設見学会を実施した。高温高压水によりPCBを分解する“水熱酸化分解法”である。374℃以上、22MPa以上の超臨界水を利用するので、高温状態の压力容器を使用している。

会員は、建設、機械、金属、農業、水産、林業、環境など、多方面部門から集まった、いわゆる異業種集団である。会員各部門の“体験、情報”は、他部門に対し貴重な知識になる。年1回の定期集会を持ち、最近1年間の活動状況について、全員で情報交換している。この機会を利用して親睦を図り、会員相互の信頼性確認とその維持発展に努めている。

定期集会には、毎回、本部役員の参加をいただき、本部運営方針、中央情報、将来に向けての注意事項などのご指導をいただいている。

4. その他

日本は深刻な不況の中にあり、北海道はこの影響により経済停滞が続いている。北海道独自の技術を生み出し、この危機を乗り切る努力が求められる。

多くが苦しんでいる中で、室蘭地区には、着実に

業績を伸ばしている企業がある。成功の要因は、およそ下記のように纏められる。

- 1) 時代のニーズに一致したテーマに取り組んでいる。省資源、省エネ、コスト削減の方向にある。例えば、損耗部品を簡単に新品同様に復元する技術を開発し、ユーザーから大変喜ばれている。企業は設備投資、社員増員で需要増に対処している。
- 2) 途上国技術では不可能な高度技術製品を扱い、受注量、収益共に好成績を上げている。基礎になる独自技術を構築したことが元になっている。

いずれの企業も、他企業に無い優れた“アイデア（発明）”と、それを商品化にこぎつける“粘り強さ”を武器にしている。我々日本人は、この分野で世界に誇れる業績を残してきた。今こそ“技術士の努力が期待される課題”は少なくないと思われる。

5. 入会申込先

〒050-0074 室蘭市中島町3丁目11-2

(株)メイセイ エンジニアリング 小針憲司

TEL 0143-43-8113 FAX 0143-45-3316